

## 2023事業年度第1回定時評議員会議事録

1 開催日時 2023年6月23日(金) 14時00分～15時05分

2 開催場所 宇部市文化会館 2階 第1研修室

3 評議員現在数及び出席評議員数並びにその氏名

評議員現在数 5名

出席評議員数 4名

出席した評議員の氏名 福田隆眞 井原 毅 脇 和也 野口政吾

欠席した評議員の氏名 二木寛夫

4 出席した理事及び監事の氏名

出席した理事の氏名 福本陽平

出席した監事の氏名 片岡謙蔵

欠席した監事の氏名 中嶋羊治：本業である会社業務のため

5 議長の氏名 脇 和也

6 議事録署名人の氏名 井原 毅 野口政吾

7 議事

第1号議案 2022事業年度の事業報告について

第2号議案 2022事業年度の収支決算について

第3号議案 理事の選任について

報告事項1 事務局長の任命について

報告事項2 規程類の改正について

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

評議員5名のうち、過半数以上が出席し過半数以上が出席しているので、本定時評議員会は適法に成立。

定款第21条に基づき、脇評議員が議長に就任した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

第1号議案 2022事業年度の事業報告について

議長の求めに応じ、事務局より2022事業年度の事業報告について説明の後、議長により出席評議員に質疑等の意見がないか求めたところ、下記のとおり質疑があった。

福田評議員

別添の事業報告シートで、小林愛実ピアノリサイタルの経費状況がチケット販売手数料のみというのはどういうことでしょうか。

事務局(事務局次長 山下)

これは宇部好楽協会との共催事業で、チケットの売上は好楽協会の収入となっているためです。

福田評議員

わかりました。交響曲UBE 2ndコンサートは集客率が非常に低いのになぜ収入が多いのでしょうか。

事務局（事務局次長 山下）

これは文化庁の補助を活用し、ほとんどの支出費用を補助金で賄ったためです。

福田評議員

入場料を取らない事業もありますが、その財源はどうしていますか。

事務局（事務局次長 山下）

入場料を取らない事業は、人材育成の観点から宇部市の補助金を活用しております。

福田評議員

宇部市の補助金はいくらぐらいありますか。

事務局（事務局次長 山下）

2022年度は職員の人件費を含め37,532,861円です。

福田評議員

それは次の決算報告で出てきますか。

事務局（事務局次長 山下）

決算報告でも出てきますが、別添で正味財産増減計算書内訳表というのを参考資料として付けておりますが、その宇部市補助金の欄にも示しております。

福田評議員

今年度から公益財団になり税制面で優遇措置があり、収益を増やしていけるので、将来的に宇部市からの税金の投入が軽くなっていくように思いますが、いかがでしょうか。

事務局（事務局次長 山下）

当面、変わらないと思います。

福田評議員

寄附もたくさんもらえますよね。

事務局（事務局次長 山下）

寄附をしていただいた方には寄附金控除等、税制上のメリットはあります。

野口評議員

小中学生に様々な事業のご案内、ご招待いただいて感謝しております。14ページの来場者・公演回数等についてご説明があり、コロナ禍の3年を過ぎて2022年度は6割弱まで戻ってきたということですが、私たちも例えば学校関係者を一堂に集めての研修会を3年前までは行っておりましたが、オンラインが当たり前となり、宇部市の小中学生が、1回は渡辺翁記念会館のステージを経験するということで行ってきた音楽祭も残念ながらなくなりました。こういう状況を踏まえて、2022年度の17万人というコロナ前より多い目標の達成は難しいと思います。

事務局（事務局次長 山下）

今年度が指定管理期間の最終年度の5年目となりますが、5年前、今回の指定管理を受ける際に立てた目標をそのまま目標値としているためです。

野口評議員

2023年度、公益財団法人となり1年目の目標は見直した目標になるということでしょうか。

事務局（事務局次長 山下）

今年度は5年前に立てた目標としておりますが、来年度以降また指定管理の更新となりますので、改めて目標設定等検討しているところです。

野口評議員

もうこの右肩上がりの目標設定は難しいと思いますので、今後検討をお願いします。

あと、先程のアンケートの件についての報告で、小林愛実ピアノリサイタルの入場者数に比べ回答が52件と低く、これは、われわれが行っている市民教養講座もWebにしたところ極端に回答が少なくなったのと同様ですが、これだと個人の意見はよいですが、全体の満足度等が測れるのか心配です。その中で新川寄席については回収率が高かったのはどうしてですか。

事務局（事務局次長 山下）

新川寄席については1月からの公演であり、こちらとしても回収率を増やしたいということもあり、コロナの状況から判断し紙ベースでのアンケートを再開しました。

野口評議員

来場者は高齢者が多いかもしれませんが、スマホをどれぐらい持っているのか、スマホを持っているのに回答しないのか等のリサーチをされているのかわかりませんが、紙よりスマホの方がすぐに回答できる状況だと思うので、その辺りはどのように考えておられますか。

事務局（事務局次長 山下）

コロナの感染対策でスマホ等でご回答いただけるような取り組みを行っており、スマホでしたら簡単に回答できると思うのですが、小林愛実ピアノリサイタルのように数パーセントという回収率なのに紙だと増えるということもありますので、今後研究をしていきたいと思います。

福田評議員

紙をやめたのは、スマホ等のデジタル社会が進んだからなのか、コロナの関係で接触の機会を減らすためなのかどちらですか。

事務局（事務局次長 山下）

コロナの関係です。

福田評議員

Webでのアンケートができたのは選択肢が増えたということで、全てをそれにしてしまうと置き去りにされる人がたくさん出ます。私も紙なら回答しますが、わざわざスマホを開いてまでしないと思います。選択肢を増やすということならよいですが、全てをデジタルにするのは間違えだと思います。

事務局（事務局次長 山下）

現状、紙、スマホ両方で行っております。

協議長

選択肢が増えたという捉え方が正解ですね。

野口評議員

客層によると思います。若い人が多ければスマホでの回答が増えると思います。

事務局（河内）

少し補足させていただきます。小中学校ではQRコードをお渡しするだけで、みなさんタブレット端末を持っているので、ほぼ100%に近いアンケート回収ができます。そうやって育ってきた子供が大人になれば、アンケートは全てWebとなるのかなと思います。年配の方もWebで回答される方も結構おられ、実際やってみると楽だったから紙で書くより自宅に帰ってから回答しようという方もおられるので、しばらくは併用しながらの回収になると思います。

他に質疑等がなかったため、出席評議員に賛否を諮ったところ、原案どおり出席評議員全員異議なく承認可決した。

#### 第2号議案 2022事業年度の収支決算について

議長の求めに応じ、事務局より2022事業年度の収支決算について説明があり、引き続き、片岡監事より監査方法の概要及び監査意見として、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められないこと、また、計算書類及びその附属明細書は、会計帳簿の記載金額と一致し、財団の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認める旨の監査報告があった。

その後、議長により出席評議員に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったため、賛否を諮ったところ、原案どおり出席評議員全員異議なく承認可決した。

#### 第3号議案 理事の選任について

議長の求めに応じ、事務局より任期満了に伴う理事の選任について説明の後、議長により出席評議員に質疑等の意見がないか求めたところ、特に質疑等がなかったため、理事候補者1名ずつ採決を行い、原案どおり、理事14名の選任を出席した評議員全員異議なく承認可決した。

理事 渡邊祐二（再任） 理事 石井美知子（新任） 理事 小林 薫（新任）

理事 馬場良治（再任） 理事 渡邊裕志（再任） 理事 富田尚彦（再任）

理事 下郡ひづる（再任） 理事 天野雄太（新任） 理事 藤川 哲（新任）

理事 内山 悟（新任） 理事 中尾泰樹（新任） 理事 道中豊明（新任）

理事 婦木澄男（新任） 理事 村上 隆（新任）

#### 報告事項 事務局長の任命について、規程類の改正について

議長の求めに応じ、事務局より2件一括で説明があった。

以上をもって議案の審議を終了したため、15時05分に議長は閉会を宣言し、解散した

この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員から議事録署名人として選出された井原 毅評議員、野口政吾評議員は記名押印する。

2023年6月23日

議 長 脇 和 也

議事録署名人 井 原 毅

議事録署名人 野 口 政 吾